げんびりあ8

編集・発行 障害者支援施設 愛の浜園 奄美市名瀬大字知名瀬2504

TEL:54-8011 FAX:54-8012





2019年 8月号 No.242

https://ainohama.jiaikai-k.or.jp/

7月4日(木) さあ~、待ちにまった海水浴!肝心

楽を掛けると、利用者さんと女性職員がにぎやかに歌

いながら、雨の中のドライブを楽しみました。帰ってき

な天気はというと……。空を見上げると、青い空と白い

▶ ■ 雲が見える予定だったのに。そう、奄美は梅雨明けもし

★ ではないために、まだ雨模様。予定を変更して、午前中だます。

けバスに乗って市街地へのドライブ。バスの中では、利用者さんが知っている音

「令和」の時代が始まり、早3ヶ月が過ぎました。皆さま、いかがお過ごしでしょうか。熱中症対策は万全に…とは言いつつもすでにこの暑さにバテ気 味な自分がいます。そんな中ではありますが、親として考える事がありました。先日、息子が習い事で通っている空手の昇級審査会が行われました。 空手を習い始めて2回目の昇級試験。型や組手などを通して、普段とは違う子どもの一生懸命に取り組む姿を見て、この一年間の成長を感じることが できました。また、親の気持ちを熱くさせる子ども大会。勝つために全力を尽くす姿に一喜一憂しました。私の職場に置き換えると、きっと遠く離れてい るご家族も色々な想いで過ごされていると思います。そのような事も同時に感じた一日でした。これからも日々の経験を通して利用者さんやそのご家族 に寄り添える支援を提供できるように努めて参りたいと思います。(副主任:幸)

8月行事予定表

2日(金):体重·血圧測定

: 奄美市花火大会見学 6日(火):夏の買い物支援

(生活介護)

7日(水):健康診断(男性) 19日(月):健康診断(女性)

24日(土): 夕涼み会 27日(火):健康相談

28日(水): 結核検診







森山 麻李亜さん

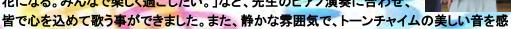


勝山 道代さん



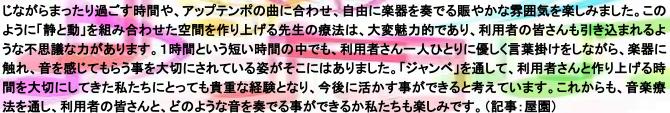


7月2日(火) 奄美市手をつなぐ親の会主催で音楽療法士の稲田 直美 <mark>(いなだ なおみ)さ</mark>んを講師としてお招きし音楽療法を体感しました。今回 先生のご提案で、利用者の皆さんより願い事を事前に集め、「七夕さま」の 曲に合わせて、願い事をひとつひとつ歌い上げる取り組みを行いました。 「健康で過ごしたい…。」「おいしいものが食べたい…。」「みんなの笑顔が 花になる。みんなで楽しく過ごしたい。」など、先生のピアノ演奏に合わせ、



てからは、食堂でお弁当を食べて、多目的ホールでミニゲームと夏の風物詩、スイカ割 をしました。ゲームでは、男女別に分かれて、ホールいっぱいに広げたボールを、籠に

入れるゲームや紐に繋がった景品をブルーシートで隠し、その紐を引っ張ると、袋の中 には当たりのお菓子とジュースが!でも、中には外れの物もあったりして、蒸し暑い梅 雨にも負けないくらいの利用者さんと職員の笑い声が響きました。ゲームが終わると、 スイカとかき氷で喉を潤しました。今年は、海では味わえない夏を感じました。でも、来



年は、この綺麗な奄美の海で夏を楽しみたいです。(記事:松原)

(努力賞)

- ・栄 徹さん…訪問歯科で抜歯をすることができました。
- ・野畑 則和さん…無事に退院することができました。
- ・和田 勇登さん…短期入所を利用しながらも、落ち着いて愛 の浜園で過ごせています。
- ・塩崎 幸子さん…自分のタイミングでトイレに行くことが できています。
- ・近藤 優香さん…初めて2泊3日の短期入所利用が出来ま Lt-

(奉仕賞)

- ・猿渡 明弘さん、栄 敏郎さん、徳 朋裕さん、隈元 利彦さん
- ・森山 義範さん、平山 和子さん、森山 麻李亜さん
- ・叶 絹代さん、岡山 いずみさん、岩越 タツヨさん

…七夕飾り作りを手伝ってくれました。

(親切賞)

- 東條 和三さん…納涼大会の手伝いをしてくれました。
- ・坂井 文也さん…職員が花の水やりをしている時にホースが 絡まっていたのに気づきホースを伸ばしてく れました。
- ・永田 三十六さん…ごみ捨てを手伝ってくれました。
- ・徳 朋裕さん…お友達の荷物を持ち、移動するのを手伝って くれました。

7月5日(金) 夏に親しむの行事で住用(す みよう)町に行き、釣りとグラウンドゴルフを行う 予定でしたが、当日はあいにくの雨模様になっ てしまい、予定を変更して、午前中に住用村へ

ドライブに行き、午後は園の多目的ホールでカラ オケやレクリエーションを行いました。最初は利 用者の皆さん残念な表情が見られましたが、カラ オケとレクリエーションを行う頃には笑顔が見ら れ、最後は「一日とても楽しかったよ。」と声が聞 かれ、私達職員は、楽しめて良かったとほっと胸 をなでおろす一日になりました。(記事:名島)



愛の浜園では、新しく入社し 包啡病原内の た皆さんに、入社3ヵ月以内に



「虐待防止、障害者差別解消法」の研修が園長 からあります。また、毎月、行われる職員研修会 の中でも、年に一度、園長から「虐待防止、障害 者差別解消法」の研修も実施されています。今 年度は、6月26日の職員研修会の中で行われ

ました。研修会では、資料の読み合わせを行い、その資料の中身の意味を 説明。その後は、日常生活や普段の支援の中で疑問に感じている事や判 断が難しい事などを出し合い確認しました。利用者さんの為に一生懸命に 考え、一生懸命に支援している人ほど、周りが見えなくなる事もあります。 そんな時こそ、周りの職員へ相談し、サポートをもらい、チームで支援して いくことの大切さも確認することができました。園長からは、虐待や差別が 起きる前に…一人ひとりの意識を高め、複数で判断することや一人で抱え 込まない事などの話しがあり、この研修を通して、改めて自分たちの支援 のあり方を振り返る良い機会になりました。(記事:辻原)



~皆さん、今年の愛の浜園の納涼大会はどうでしたか?~ 7月20日(土)、2年ぶりに愛の浜園の納涼大会が多くの方 の協力を頂いて盛大に行われました。去年が台風の影響で泣 く泣く中止となった為、今年こそは…と意気込んでいる時にま たしても台風が…。去年の事が一瞬頭をよぎりましたが、今年 は何があっても納涼大会をしよう!したい!という強い想いが ありましたので、どのような方法ならできるのかを考え、今年 は例年通りの裏の緑地公園ではなく、園の多目的ホールをメ イン会場とし、中庭や女性棟裏のスペースを利用して新しい形 で皆さんをお迎えしました。ステージ発表ではいつもお世話に なっている地域の方の多種多様なダンスやご家族によるギタ -の弾き語りなどで大いに盛り上がり、会場の皆さんの目を 釘付けにしていました。更に抽選会では2年ぶりという事で、 目玉商品の数々に、抽選券を手にドキドキわくわくしている気 持ちがこちらまで伝わってきました。メイン会場でステージ発 表を楽しんだり、中庭でゆっくりと祭りの雰囲気を味わうなど、 皆さんそれぞれの楽しみ方があったようです。最近は様々な 行事の度になかなか天候に恵まれませんが、多少の事では 諦めない私たちです。いい意味で諦めの悪い私たちだからこ そ、やり方を工夫する事で、新しい何かが見えてくる事もある かもしれません。今回も延期や中止にするのではなく、やり方 を変えて実行した事で、新しい発見もありました。形が変わっ ても皆の笑顔が沢山あり、納涼大会を無事に終える事ができ てホッとしています。また多くの方に支えられている事を改め て感じ、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございまし た。また来園も遊びに来てください。(記事:大田)





1// 上ゴノ石計修 7月23日(火)、奄美のリハビリテーションの発展を目指して活動している、和月(わづき)の白浜 和晃(しらはま かずあき)さんを講師に招き、リハビリの研修会を実施しました。前半の講話は、リハビリの目的は、再発防止ではなくゴールを高めること。しかし、私たちが行う場合、筋力アップのための運動は専門的になる

ため、バランス運動や軽い体幹筋を刺激する運動が望ましいという内容でした。後半は、利用者さんにも参加してもらい、実際に私たちが取り入れられる運動の実技を行いました。座ったままでできる体幹運動や、椅子を使った足の屈伸運動、さらには、少しずつ歩幅広めていく歩行運動など、無理なくでき少しずつ目標を高めていく方法を教わりました。短い時間で、気軽にできる運動でしたが、実施する際は利用者さんの様子に注意しながら、無理なくしかも楽しく行うことが大事だと感じました。その他にも、寝ている時間が長い利用者さんが楽な体位の取り方や、バランスボールでの実技があり、今後の活動や支援に活かせるとても有意義な研修でした。これから、活動や生活の場面で取り入れ、利用者さんが健康で過ごせるよう努めたいと思います。(記事:荒田)